

図書館だより

No. 72

★12月&冬休みの開館予定（変更になることもあります）

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2 正○ 共◎	3 正○ 共◎	4 正○ 共◎	5 正○ 共◎	6 正○ 共◎	7 休館
8 休館	9 正○ 共◎	10 正○ 共◎	11 正○ 共◎	12 正○ 共◎	13 正○ 共◎	14 休館 中・入試②
15 休館	16 正○ 共◎	17 正○ 共◎	18 正○ 共◎	19 正○ 共◎	20 正○ 共◎	21 休館
22 休館	23 正○ 共◎	24 正○ 共◎	25 正○ 共◎	26 正○ 共◎	27 正○ 共◎	28 休館
29 休館	30 休館	31 休館	1/1 休館	1/2 休館	1/3 休館	1/4 休館
1/5 休館	1/6 休館	1/7 正○ 共◎	1/8 正○ 共◎	1/9 正○ 共◎	1/10 正○ 共◎	1/11 休館 本校・入試

開館時間

正（正道館学習室） 共（共生図書館）

○7:00~17:00 ◎9:00~19:30 △8:30~17:00

【追悼】詩人・谷川俊太郎さん

11月13日に92歳で亡くられた谷川さん。その詩と絵本は多くの人に届きました。その中に自身が編集したアンソロジー『祝魂歌』という詩集がありますがその本のあとがきで死について語っています。

「私自身は年をとるにつれて、死は行き止まりではなく、その先にまだ何かがあるのではないかと、誰もがそれを心の奥底でそれを知っているのではないかと。もしそうだとしたら、魂の新しい旅立ちを祝うことができるのではないかと、それが残された者の嘆きを少しでも軽くすることができるのではないかと。」

谷川さんが選んだ、石垣りん、中原中也、シェークスピア、まどみちお、大岡信氏など著名の詩人の「死をめぐる30の詩」が収められています。

哀悼の意を込めて読んでみることをお勧めします。

校内読書週間「押し本フェア」

今年も10月末から11月9日まで共生図書館で展開しました。

6年生の参加もあり温かい気持ちをいただきました🙏

『君を守ろうとする』

猫の話』

（夏川草介・著）

自由、孤立、勝者、金…
薄暗い現実に優しく強い火を灯す。
猫と少女による心についての物語。



おすすめ度 ★★★★★

ペンネーム ©

『厳選ショコラ手帖』

（小方真弓、平岩理緒・著）

眺めているだけで幸せになれる本です。
様々なお店、様々な種類のチョコが載っていてチョコ好きにはたまりません。また、チョコレートができるまでやスイーツに関する用語、チョコレートの種類の解説もあるのでスイーツ知識も得られます。バレンタインの時期はもちろんのことそれ以外の時も開いてもらいたいです。

おすすめ度 ★★★★★

ペンネーム じゅこてん



ビブリオバトル2024群馬県大会

樹徳からも1名参加した県大会、阿久澤先生から過去の紹介本掲載の冊子を頂戴しました。そこで、中学・高校・大学の各部で同じ本がグランドチャンプ本に輝いたのを知り驚きました。『同名同名』（下村淳史・著）です。発表者は3名とも男子でした。この本の魅力は何なのか？確かめたく家で読んでみました。内容は重く、現代社会の抱えるSNSの問題や学校内のいじめなどが中高生を始めとする「犯罪者と同名同名」の登場人物を通して描かれています。他者への気遣いが、切実に芽生える構造になった作品です。中高生の皆さん、一読あれ。



📖話題書 『禁忌の子』（山口未桜・著）

作者は医学部受験の為、断念していた小説執筆を16年ぶりに再開した現役の医師です。そして、本作、デビュー作にして「鮎川哲也賞」を受賞しました。題名の意味が分かるのはラスト終盤ですが、それまで医療×ミステリの醍醐味で物語は疾走し、読者はあまりの展開に息を切らしながら読むほどの力作です。医学に興味のある人、読む価値ありです。

